

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	事業所理念は、部署内に掲示し、フロア会でも職員間で確認、共有できている。管理者、職員は理念を共有してサービスの実践に繋げている。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	新型コロナウイルスが第5類に移行になったことで行動制限が緩和され、事業所と地域との交流も少しずつ回復してきている。今年度は土下の夏まつりの参加予定が感染対応中で参加中止となったが、万燈や秋まつりへの参加で交流できた。認知症ケア向上連絡会では地域の方へ認知症の啓発としてオレンジガーデニングプロジェクトに参加した。地域のこども園の園児と利用者が一緒にひまわりの種まきを行い、ひまわりを職員と一緒に育てた。又地域の6事業所合同の運動会にも参加し交流し楽しんでいただけた。	・行動制限については、国の方針ではなく、法人・施設の方針が緩和となり地域の行事や交流に参加出来てきている。 ・昨年と大きく変わったことで、GHとして、地域とのつながり、地域に貢献していく役割を具体的に表現している。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期的に会議を開催しグループホーム(GH)の現状等を報告できている。リスクやコロナ感染状況などについても意見交換や助言をもらい職員間で共有しサービス向上に活かしている。会議の中で挙げた土下地区自治会だよりを利用者に毎月見ていただくようになり、様子を知って頂くことで地域の一員としての交流となっている。	・運営推進会議で挙げた意見が利用者へのサービス向上へつながるよう取り組んでいく。 ・土下地区の自治会だよりをはじめ、地域の町報等も利用者に見ていただいている。		

4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日頃より状況の変化があれば報告し相談を行っている。市町村担当者とは、運営推進会議を通じて事業所の現状を伝え、協力関係を築くよう取り組んでいる。入退去、待機者数等の状況を毎月報告もしている。	・連携は一方通行ではないので、市町村側からも「このようにした方が良い」という項目があればよい。 ・受診が必要となった事故については報告書の提出を行い、助言も頂いている。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	代表者は、施設全体として、身体拘束ゼロに向け取り組み、職員への研修を行い身体拘束に関する理解を高めている。現在身体拘束、センサーマットはなし。ケア通知で危険を察知し対応している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・家族へは契約時に説明をしている。身体拘束をやむを得ず行う場合、3つの条件と、拘束の解除に向けた話し合いを行っている。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	身体拘束、虐待防止委員会を中心に、職員に拘束、虐待のないケア周知を図り、全職員で虐待の芽チェックを実施。教育・研修委員会が人権研修を開催し(地域包括支援センター職員講師による研修)、管理者や職員は高齢者虐待防止について学ぶ機会を持っている。意識を高める事により注意を払い、防止に努めている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・お互いが言い合える、指摘し合い、取り組むことが不適切ケア防止に繋がっていく。 ・虐待の芽チェックを行い、自身の振り返りや、場面を想定しながら話し合っている。
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	成年後見制度、権利擁護に関する研修を開催し、理解を深めている。1名在宅で経済的虐待あり、地域包括支援センターと連携し入居となる。在宅からの継続で日常生活自立支援事業の活用を行っている。			
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	契約時の重要事項の説明や、利用中でも今後の方向性等、家族等の疑問解消に向け取り組んでいる。改定時には利用者、家族へ説明し同意を得るよう対応している。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	住民集会(=利用者の集会)で意見や日頃の利用者の声を聞き取りサービスに反映させている。家族アンケートを実施し、家族の要望等も受け、		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・「住民集会」とは何か?内部では通じるが、公に対しては用語の意味が伝わるような説明を加えた方がよい。 ・日頃から家族への連絡もあり、意見も反映されて

				運営に反映させている。又集計結果は家族、外部へ報告している。			いると思う。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	代表者、管理者は、年2回の面談や毎月のフロア会議、日々の業務等の中で、職員の意見を聴き反映に努めている。自己評価により職員の意見等の確認を行っている。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	代表者・管理者は、個人目標、人事考課により職員個々の実績や勤務状況等の把握をし、やりがいなどの向上心を持って働けるように努めている。年1回ストレスチェック、腰痛アンケートを実施し職場環境・条件の整備にも努めている。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	・代表者は職員の個人目標をサポートし意欲向上に努めている。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	代表者は、職員個々のケアの力量等を把握し、職員に合った研修を受ける機会を確保している。オンライン動画研修アプリを活用し、働き続けながら学習できる取り組みも行っている。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	・職員個々の力量をどのように把握しているか？法人内外の研修に参加する際の、前段階での評価。 ・「働きながら」とは、勤務中や休暇を取ってではなく、「働き続けながら」という意味。
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	認知症ケア向上連絡会を通じて、研修会、北栄町事業所合同運動会の開催により利用者、職員ともに交流することができた。又3年ぶりに相互研修にも参加でき両ユニットから各1名他事業へ訪問や受け入れを行い情報交換の場となった。法人内のグループホーム間で事例検討会に参加し意見交換を行っている。活動を通じて部署内で共有しサービスの質の向上となるよう努めることができた。			

14	本人と共に過ごし 支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員は、本人の残存機能や得意な事等を把握し、家事や新聞整理など役割として職員と一緒に、時には自立して行えるよう支援している。又季節の作品づくりや行事の備品準備等も職員と一緒に行うことで関係を築いている。			
15	馴染みの人や場との 関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎月、要望を踏まえた外出行事、ふるさとドライブ等で馴染みの場所へ行けるよう支援している。普段の会話の中で長いもマラソンのボランティアをしていたとの声あり大会当日にドライブで見に行き応援を行った。「懐かしかった。」ととても喜ばれていた。	・利用者9人それぞれの馴染みの人や場所の把握は出来ているか？ ・シートを活用し再アセスメントを進めている。		

II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎月の住民集会や日々の生活の中で一人ひとりの暮らしや意向の把握に努め、プランに連動し反映できている。その人らしさをより知る為にセンター方式を活用し一人ひとりの意向に反映できるよう努めている。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人がより良く暮らせるよう、居室担当、計画作成担当者を中心に専門職等と話し合い、家族へ意向要望を聞き取り、課題やケアに対して意見を反映した計画書を作成している。月1回モニタリングを行い、3か月に1回計画書の見直しを実施している。	・現時点では感染予防のため、家族へは電話にて計画書の説明を行い、意向要望の確認している。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・介護計画書は、本人の状態を考えて作成されており、安心している。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	介護計画書に基づいたケアを行い、電子カルテを活用し、計画に沿った記録を個別に記入している。職員各々、電子カルテで情報を共有し、記録をもとに見直しに反映している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・記録の仕方も、他者のものが参考になることがある。記録が連続したもの、根拠に繋がるように残り、実践に繋げていく。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者、家族ニーズに合わせ多職種(管理栄養士・歯科医師、歯科衛生士・言語聴覚士・理学療法士・老健看護師など)との連携を図り柔軟なサービスとなるよう取り組んでいる	・併設の老健の機能を活用し、多職種との連携を図っている。OMAT(=口腔・嚥下状態の改善に対する専門チーム)、		

				る。			
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	訪問散髪、防災活動で地域との協力体制、かかりつけ医へ定期的に通院を行い安心な暮らしを支えてもらっている。利用者要望での地域へのドライブを実施している。又行動制限緩和により状況を見て外出も可能となってきている。その人にとっての地域資源をより知る為にセンター方式でアセスメントを行い豊かな暮らしとなるよう支援している。	・利用者へ聞き取りを行い、馴染みのスーパーへの買い物外出を実施できた。 ・何が地域資源化を把握した上で、センター方式を活用していくことが望ましい。		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人、家族の希望に沿い、かかりつけ医の受診を行っている。法人の協力病院へ変更する際には十分な説明を行い、了承を得ている。定期的な通院、必要時での受診も主治医に状態報告を行う事で適切な医療が行えている。又家族への報告も行っている。現在電子カルテ活用し、法人医療機関とは迅速に情報共有ができています。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入院時には関係者に必要な情報を提供し、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との連携にも努めている。電子カルテ活用し、入院時の状態確認も行えるようになりより早く情報交換ができるようになった。入退院については、医療機関の地域連携室担当と連絡相談を行っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・法人の協力病院以外の場合、地域連携室や看護師と連携している事を記載。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	グループホームでは終末期ケアの対応はしていない。重度化した利用者については、併設している老健でより専門的な対応、看取りケアが出来る事を本人、家族へ説明、意向を確認		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・グループホームから老健へ移る際、生活の変化、状態の悪化等を医師などの専門から具体的に、分かりやすく、本人・家族へ説明していくことが安心に繋がる。

				し取り組んでいる。老健スタッフへの情報提供や医療機関とも連携を図り支援している。			
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	老健看護師指導のもと定期的に急変時や事故発生時を想定したロールプレイを実施し、適切な対応が出来るよう実践力を身に付けている。今年度4月ご利用者1名職員1名7月にご利用者2名職員3名の新型コロナウイルス感染発生あり。本部感染制御センターの指導、助言を受け感染拡大には繋がらなかった。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	災害時を想定した防災訓練を地域と協力し実施している。災害時想定での非常食提供の訓練、発電機稼働訓練も行っている。災害における協力に関する協定書を結んでいる。	・年間計画に沿って避難訓練、災害時訓練、非常食訓練を実施。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・事業所全体で取り組まれている。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーに配慮したケア、一人ひとりに合った言葉かけを心がけている。人権研修や虐待の芽チェックリストによる自身のケアの振り返り、勉強会も行っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・職員にとっては親しみがある話し方でも、第三者が聞いたらどう思われるかを考える。 ・家族としては名前でも呼んでもらえるのは温かみがあり嬉しい気持ちがある。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員は、一人ひとりの生活リズムを把握する事、意向要望を尊重し、個別ケアの取り組みにも努めている。その人らしい暮らしが出来るようプランに反映し支援している。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期的に嗜好調査実施。利用者の要望を聞き、テイクアウトや行事食等計画し、実施している。又管理栄養士により季節を感じる食事の提供が出来る。おやつ作りでは、包丁等も使い出来る力を発揮できるよう支援している。人の役に立ったという喜びを感じる利用者もあり。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・重度化により給食になっているが、利用者と一緒にテーブル拭きや、下膳、食器拭き等を行っている。

29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎日食事量、水分量の観察、記録を実施し健康管理を行っている。管理栄養士、言語聴覚士と連携し、一人ひとりに合った栄養の確保、状態に応じて、嚥下評価を実施し食事形態を確認している。本人の力を活かした食事習慣となるよう指導を受け支援している。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	歯科医師、歯科衛生士による OMAT で口腔内の確認、指導、助言を受けている。助言をもとに毎食後一人ひとりに合った口腔ケアを行い清潔保持に努めている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・毎食後口腔ケアを実施。 ・肺炎はなし。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々の排泄パターンを把握し、トイレでの排泄や、排せつの自立に向けた支援、見直しを行っている。朝食時に乳製品の提供や、便秘傾向の利用者は主治医に相談し薬の調整を行う。便秘予防に毎日の体操、散歩もしている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・便秘は体調不良や心身に影響あり。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	週2回の入浴を実施。本人の状態に合わせて対応している。拒否される方もあるが、センター方式の活用やチームで話し合い清潔の保持が出来るよう取り組んだ。足浴にはアロマを使用し香りも楽しんでもらっている。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日中活動的に過ごして生活リズムを整え、夜間安眠出来るよう支援している。ソファや畳ベッドを活用し安心して過ごせる居場所の提供を工夫している。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	服用している薬についての効果や副作用について理解し、主治医指示の用法用量を守り、マニュアルに沿って服用介助している。状態により薬の変更もあり職員間で情報共有し服薬支援を行っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・利用者9人、一人ひとりの服薬状況を把握できているか？落下薬や誤薬等のリスクに注意し、支援を行っていく。

35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人ひとりの趣味や能力に応じ、手作業等の役割や、行事レクリエーションを提供。天気の良い日は散歩したりし、気分転換等の支援をしている。訪問販売、自販機や外へ買い物に出かけたりと楽しみがもてる支援をしている。	・利用者9人、一人ひとりの趣味・役割を把握した支援を行う。		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ドライブ外出を計画し状況を見ながら対応している。毎月の住民集会で外出先の要望を確認し、希望に添えるよう支援している。地域行事への参加も少しずつ行っている。(オレンジカフェ、ギャラリーゆら里、地域のまつり等)戸外で職員と共に畑や花を見る等、季節を感じる支援を行っている。	・昨年と比べ、外出行事も出来ている。天気の良い日には希望に添い、散歩へ出かけている。		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	施設内の自動販売機や移動販売でのお菓子等の購入をしている。又通院時には預り金を本人に渡し売店で好きなものを自分で購入できるよう支援している。現在本人管理は1名あり。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族に確認しながら、希望時に電話の支援を行っている。今年度は手紙教室を行い自分の思いを手紙に書き家族へ送り喜んでもらえた。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	床はバリアフリーとなっており、手すりを設置し、自立した生活が送れるように工夫している。家具などの生活感や、季節の飾りを一緒に作成し取り入れている。外部ラウンドチェック体制により環境整備にも努めている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・居室での家族との面会も再開となっており、共有スペース、居室の環境整備を行っている。 ・入所されて初めて居室を見られた家族もおられ、喜ばれていた。	

IV. 本人の暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)

40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日常の関わりや会話の中で本人の意向を確認しつつ、職員間で情報を共有し、日々のケアに反映させている。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人や家族に生活歴や習慣などの情報を聞き、ケアやサービスに反映し支援している。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者本人は、職員が主治医や看護師、栄養士、リハビリスタッフ等、多職種と連携することで、健康面、医療面、安全面、環境面のケア・支援を受けている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・家族としても、受診の結果報告や、日ごろの様子等、定期的な連絡があり、安心している。
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人が、これまでの暮らしの習慣が継続できるような支援に取り組んでいる。職員主体にならないよう自分ペースでの暮らしとなるよう配慮しケアを行っている。			
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	馴染みの食器や寝具等を使用している。居室に家族の写真を飾ったり、仏壇やタンスを持っている利用者もいる。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・昼夕は給食で対応しているが、朝食時は自宅で使用していた茶碗・箸を使用している。水分補給時は都度本人の湯飲み・コップを使用している。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々の意向要望を聞き取り正月には地元の神社への初詣や要望を取り入れた外出行事を行っている。(季節感を楽しめるドライブ、馴染みの場所へのドライブなど)今年度より、地域のまつり等にも参加できるようになった。(はあとまつり、北条まつり、土下まつり(万燈)など)	・毎月の集会や、日々の生活の中で出た利用者の意見や希望をもとに、外出や催事等の行事を計画し、実施している。		
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人に苦痛のないよう、好きな事や得意な事、できることを活かした役割やレクリエーションを提供している。趣味の花生け、歌や踊り、縫物など、個々に合わせて実施している。			

47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	行事やレクリエーション等、日々の関わりの中で職員や他利用者と会話する機会を得ている。デイルームの席は利用者同士の相性等に配慮し、ソファでは利用者同士の会話もあり笑顔が見られる場面もあり。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・月1回の住民集会や誕生会等あり、職員や他の利用者と会話をしたり、レクリエーション等で活動する機会がある。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域の運動会、こども園に訪問し交流するなど地域との関わりも増えてきている。又自分たちの作った作品を地域に展示することで地域の方へ認知症の啓発になっている。	・オレンジカフェや、地域の行事への参加、今年度はこども園の園児や、他事業所の利用者と一緒に交流する事が出来た。		
49	総合	本人は、このGHにいて、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	GHで生活する事の良さを活かしたケアについても、専門職と連携しながら安心・安全な生活を送れている。地域の方との交流も少しずつ増えている。土下地区の自治会だよりを見ても、「昔はウチの所でもしよった。行ってみたいなあ。」等の声も聞かれ、地域の一員としての暮らしができるよう努めている。	・利用者からは「ここでの生活はええですよ。」「楽しいし、安心です。」等のお声を頂いた。 ・自己主張が少なかったり、できない方もおられる。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・どんな場面で笑顔が見られるのか、表情が良いかの観察を行い、職員間で共有し、安心、よりよい日々を送れる支援に取り組んでいく。